

茨城大学工学部 都市システム工学科 令和5年度前期 学科教育点検報告書

令和5年 10月 16日

報告者 都市システム工学科 学科長 小林 薫

1. 実施日時と場所

第1回 令和5年9月26日(火) 8:40~14:20 Teamsによるオンライン会議

第2回 令和5年10月4日(水) 16:00~18:00 Teamsによるオンライン会議

2. 出席者

第1回

常勤教員：遠藤克彦, 熊澤貴之, 桑原祐史, 小林薫, 信岡尚道, 原田隆郎, 平田輝満, 藤田昌史, 山田稔, 横木裕宗, 榎本忠夫, 久野靖広, 車谷麻緒, 辻村壮平, 肥田剛典, 稲用隆一, 増永英治, 一ノ瀬彩, 大村高広, 吉田友紀子(全常勤教員20名のうちの20名が出席)

非常勤教員：出席なし

技術職員, 事務職員：出席なし

第2回

常勤教員：熊澤貴之, 桑原祐史, 小林薫, 信岡尚道, 原田隆郎, 平田輝満, 藤田昌史, 山田稔, 榎本忠夫, 車谷麻緒, 辻村壮平, 肥田剛典, 稲用隆一, 増永英治, 一ノ瀬彩, 大村高広(全常勤教員19名のうちの16名が出席, クロス教員は時間外のため欠席)

3. 添付資料

資料1-1 2023年度(前期)教育改善委員会議事録

資料1-2 都市システム工学科_専攻FD研修会議事録

資料2 2023年度(前期)学科・専攻教育改善委員会およびFD研修会議事次第

資料3 2023年度前期 授業点検改善表集

4. 授業点検の実際

4. 1 アンケート実施状況

点検評価に先立って実施した, 授業アンケートの回収状況は以下のとおり.

常勤教員担当科目分: 30科目/常勤教員担当科目総数 30科目

非常勤教員担当科目分: 4科目/非常勤教員担当科目総数 4科目

4. 2 点検した科目

応用地質学、情報リテラシー、都市システム工学序論、大学入門ゼミ、線形代数Ⅰ、都市システム工学製図、水理学Ⅰ、地盤力学Ⅰ、構造力学Ⅰ、数理統計、常微分方程式、フーリエ解析、建築設計製図Ⅰ、プログラミング演習Ⅰ、社会基盤工学基礎演習Ⅰ、建築計画学、建設材料学、測量学、建築一般構造、建築法規、建築施工、建築史、建築実務基礎論、振動及び耐震工学、海岸工学、上下水道工学、都市システム工学実験Ⅰ、建築環境工学演習、建築設計製図Ⅲ、社会基盤設計演習Ⅰ、橋梁及び鋼構造、地盤工学、交通システム

の 33 科目

前期に開講した専門科目の総数 34 科目中 33 科目 (97%)

4. 3 具体的な点検方法

前期に開講した 34 科目中 31 科目について、以下の方法で点検を実施した。各科目の具体的な点検結果は、資料 1-1 の議事録における「点検評価と結果」を参照のこと。なお、常微分方程式、フーリエ解析については、令和 5 年 10 月 4 日（水）16:00～18:00 開催の学科学会議内に設けた第二回学部教育改善委員会にて別途 1 科目ずつ確認した。

- ・ 3～5 科目程度のグループ（資料 2 参照）ごとに、各授業担当の教員が担当科目の授業点検改善表（資料 3）等の資料に基づいて、特に前年度の点検評価で出された各科目の課題・問題に対する対応実績について説明し、それに対しての参加教員全員からの質疑・コメントを受ける形で、点検を実施した。
- ・ 随時、提出済みの電子データや、茨城大学 FD/SD 支援システムを参加者が各自で確認し、それに関しても必要に応じて議論した。
- ・ ファイル提出された教員間ネットワークの活動状況についても、確認した。

5. 点検評価の結果

5. 1 昨年度の点検評価で出された改善策のフォローアップ

点検を行った全ての科目において、昨年度に改善すべき問題点は改善されていたことが確認された。

5. 2 今回の授業方法で優れている点

社会基盤工学基礎演習Ⅰでは、授業アンケートの結果（回答率 49%）より、満足度も高く構造、地盤ともに概ね満足以上が 100%であった。全員ではないが、授業の進捗に合わせて関連課題を解くことができるので、授業内容の理解度が上がっているとのことであった。今回、構造と地盤になったことから、授業の進捗と調整しやすくなり、効果的な演習の授業が出来たものと考えられる。

5. 3 今回の授業方法で改善すべき点

学習内容の難易度が比較的高い授業では、途中から授業に付いて行けなくなる学生も散見された。今後、例題等の解説を増やすなどの対策を講じる等の対応が必要である。

6. 教育改善活動

詳細は、資料 1-2 参照。

JABEE の認定審査に向けて、方針やスケジュール、進め方が提示され、学科構成員に共有された。授業における成績評価の方法について明確にすべきことや、授業アンケートをふまえた上での学生へのフィードバック方法について確認がなされた。また、学生・OB・OG に対するアンケートの内容も示され、都市システム工学科・専攻での教育方針が概ね良好な評価結果であったことが確認された。

7. 報告書の開示

この報告書と同じ内容の書類を Teams 内に設置した学科 FD チャンネルに保管し、学科の全教員が自由に閲覧できるようにした。

8. 『産学連携カリキュラム改良委員会』を受けての教育改善活動について

直近の産学連携カリキュラム改良委員会では、建築の構造分野における土木・建築の融合教育についてご意見をいただいた。現状の授業内容について土木・建築で共通する内容や、融合教育のメリットなどを整理し、今後の授業内容の改善について引き続き検討を続けることになった。

9. その他

特になし。